

○議長（川崎和夫君） 3番 吉川孝弘君。

○3番（吉川孝弘君） 3番吉川です。私のほうからは、国際交流の促進について質問させていただきます。

社会、文化等のいろいろな面で国際交流が進展し、国際的な総合依存関係は深まり、国際関係はますます加速していくと思われます。世界には、国連に加盟している国の数だけでも193カ国もの国が存在しています。

子どもたちが国際社会の一員であることを自覚し、異なる文化を知り交流を図ることは、子どもたちの視野を広げ、見識を深めることにつながっていくと考えております。

舟橋村では、国際化が進展する中、幼年期のころから積極的に英語教育を取り入れて自分の考えや意思を表現できる語学能力の基礎や表現等のコミュニケーション能力の育成を図る子どもの育成に努めていますが、国際化の進展は人と人との相互理解、相互交流が基本となっていくものであり、その意味で教育の果たす役割はますます重要になってくるものと思われます。

今後国際交流事業の取り組みの必要性についてどう考えているのか、また現在行っている取り組みや今後行う予定としている取り組みがあったらお聞かせください。

また、運動に親しむ資質、能力や体力を養うスポーツの分野では、世界中にすばらしい選手がたくさん存在し、そうした選手に直接指導してもらうことができれば、村の子どもたちのスポーツに対する向上心、能力の向上につながっていくものと考えております。

次世代を担う小学生、4年から6年生のなりたい職業を聞きますと、上位にはサッカー選手が挙がり、人気の高さが伺えます。例えば、昨年舟橋村にできた常願寺川公園スポーツクラブ等と連携し、海外のサッカー選手等から直接指導が受けられれば非常によい経験になるのではないのでしょうか。

国際スポーツ交流の促進についての村の考えをお聞かせください。

○議長（川崎和夫君） 教育長 高野壽信君。

○教育長（高野壽信君） 3番吉川議員さんの、国際交流事業の取り組みの必要性と国際交流の促進についてのご質問にお答えします。

まず、平成29年度の国際交流推進事業としての取り組みと今後の予定について報告いたします。

昨年度、ALTを講師に小学生1年生から3年生を対象にした「英語で遊ぼう」、図書

館での「英語で楽しむおはなし会」、また60歳以上の村民を対象にした、会館での「英語で元気！わくわくレクリエーション」等を実施しました。

今年度も昨年同様の取り組みのほか、村民、また小学校児童とその保護者を対象に、「いろんな国を〇かじり」というテーマでアメリカやインドのあれこれを、また7月28日には、外国人講師5人を同時に招聘し、村民を対象に「レッツエンジョイイングリッシュ体験」を実施する予定です。

このように、国際的共通語である英語によるコミュニケーション能力を身につけさせることを目標とし、舟橋村の教育の大綱にも掲げ、英会話能力の向上にきめ細かく取り組んでいるところです。

また、舟橋小学校だより「ふなっ子」5月24日号に、保護者向けにコミュニケーション能力の素地を養うための取り組みの現況をお知らせしております。

従来ALTの勤務は、小学校半日、中学校1日でしたが、昨年度より村独自で小学校3日、中学校2日の常勤講師として採用し、より実践的な教育活動を幅広く推進しています。例えば、小中学校全学年で英語活動、授業を実施するとともに、図書館で開催している月1回の英語で楽しむお話し会、舟橋会館で20歳以上の村民を対象にした英会話教室などの活動をALTが担っております。

また、村の特徴ある英語教育として、子育て支援センターでの月2回の英会話クラス、英語紙芝居の作成、ふなはしこども園での週1回の英語活動、学童保育室でのアフタースクール等、定期的を実施しております。

言うまでもなく、英語だけに限らず、世界には多くの言語がありますので、国語教育との連携などを通じて言葉への関心を高めることを大切にしながら、ネイティブスピーカーによる外国語講師、外国語指導助手、地域人材の活用など、指導力向上を推進していきたいと思っております。

また、子どもの夢は、野球選手、サッカー選手、薬剤師、漫画家、料理人など多岐にわたっています。外国の選手や一流の選手、職人などとの出会いが夢の実現への道を開くことと思います。

ご承知かと思いますが、先日6月1日にJFA委託事業である小中学校「夢の教室」を開催しました。この事業は、日本のトップアスリートを派遣してもらい、夢を持つことのすばらしさ、目標に向かって努力することの大切さ等を子どもたちに伝える取り組みですが、受講した児童生徒にとって大変意義ある教室になったと思います。

また、児童生徒の体力調査の結果を検証し、子どもたちの運動機会の創出を図る。指導者も含め、発達段階に応じた運動動作、トレーニング方法を会得する。外部専門家から指導方法、考え方などを具体的に学ぶ機会を得るなどを狙いとし、体力向上に関する有識者を招聘し、運動教室や研修会などを実施しています。

このように、村では、それぞれの分野で多岐にわたりきめ細かい活動を展開しております。このような従来の積極的活動を鑑みると、吉川議員さんが例に挙げられましたような営利目的の施設、団体などと連携するには、現時点では難しいと考えております。

今後とも、現状の活動を維持しつつ、さらには文部科学省や県教育委員会、その他教育に関する団体から提供される事業を積極的に受け入れ、国際交流事業の促進を図り、舟橋村から国際社会に貢献できるような子どもたちを育てるとともに、英語教育、スポーツに限らず、全ての子どもたちに喜びや感動を与えていきたいと考えていますので、議員の皆様のお力添えをいただきたいと思っております。

以上で吉川議員さんのご質問の答弁とさせていただきます。